

# クリンテートSNの効果確認試験



左:慣行区 右:試験区



フィルム内側が凍っている。



手前から2棟目:慣行区 3棟目:試験区

## 試験目的

クリンテートSNの効果確認試験

## 試験作物 及び品種

玉葱

## 試験資材 及び数量(規格)

クリンテートSN(0.1mm×920cm×46m)

## 慣行資材

クリンテートDX  
クリンテートFX

## 栽培方法

播種日

2月20日

## 資材使用期間

10月末～5月末

## 試験区面積

約300㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と変わらなかった。フィルムの硬さも変わらなかった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験品のはっきりとした効果が見られなかった。苗の生育差は変わらなかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：フィルム外側に雪が滑って落ちるような加工がされている。雪が早く落ちれば日が入り、ハウス内温度も上がる。また、雪の重みでハウスが潰れることもない。

【問題点】：慣行品と比べ3割程度コストアップになる。

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品、試験品ともに1年目なので差は見られなかった。

### (5)促成・抑制効果について

生育差は無かった。雪落ちの差があれば生育差も出たかもしれない。

### (6)保温効果について

雪落ちの差が見られなかったため、保温効果も差が無かったと思う。

## モニター感想

今回の試験では、試験品の効果ははっきりとは確認することができなかった。気温が低いとフィルム内側の水滴が凍ってしまい、光が入りづらく温度上昇しづらいため、滑雪効果も薄れてしまうのかもしれない。玉ねぎ育苗では、10月末頃からハウスを張り除雪やハウス内に支柱、補強をしなくてはならない。育苗準備が始まるとジェットヒーターを焚いて保温もするため滑雪効果のあるフィルムを使うことでコストが下がればフィルム代が3割高くても元はとれる。試験品の効果が判然としなかったが、雪の多い地区なので期待している。今後も効果を見ていきたい。

## JA担当者の感想(農業資材課 林主査)

当地区では、気温が低く雪も多いためクリンテートSNは合わないのではないかと推測できる。コストをかけた分の効果がはっきりとわからないと推進できない。クリンテートは広幅の規格に折り目が入り、ポタ落ちするリスクもあるので改善してほしい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。